

特記仕様書

I. グラウンド施工の一般事項

1. 共通事項

本事業において整備するグラウンドについて、下記項目を満たすものとする。本特記仕様書に記載されていない事項については、要求水準書の「適用法令等」に基づくこと。

2. 品質

本事業において整備するグラウンドは、適正な維持管理を前提として、競技に支障のない品質を保證できることとする。

II. ロングパイル人工芝

1. 各団体基準値等への適合

本事業において整備するメイングラウンドに使用するロングパイル人工芝は、以下の基準を満たすものとする。

基 準
JFA（日本サッカー協会）の製品検査（ラボテスト）を完了し証書の提出ができるもの、または FIFA ワンスターもしくはツースター認証済みで証書等の提出ができるもの

2. 材料の性能

人工芝または芝葉の性能数値は下記の基準を満たすこと。試験方法等は「JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認制度ガイドブック（第 8 版）」に基づくこと。

人工芝または芝葉の性能数値

試験項目	試験方法	基準値
傾 斜	現場レベル測定	0～1.0 %（センターから各コーナー方向に対して）
平 坦 性	平坦性測定試験 3mプロフィルメータ使用時	各ライン 2.4 mm以下
基盤の透水性	現場透水試験器	15秒以下/300ml
ボールの垂直反発高さ	EN 12235	新規：0.6-1.0m 更新時：0.6-1.2m

ボールの転がり	FIFA Test Method 03	新規：4-10m 更新時：4-13m
衝撃吸収性	FIFA Test Method 04a	新規、更新時：50-70%
垂直変位	FIFA Test Method 05a	新規、更新時：4-11 mm
回転抵抗	EN 15301-1	新規、更新時：25-50Nm
ピッチの外観検査	FIFA Test Method 12	更新時のみ：10 mm未満 その他プレーに支障があると考えられる箇所がないこと

3. 材料等の仕様

人工芝または芝葉の材料等は以下の仕様を満たすこと。

(1) パイルの仕様

項目	仕様
素材	ポリエチレン
製法	モノフィラメント
長さ	55mm以上65 mm以下
厚さ	360 μ 以上
単糸引張強度	20N以上
織戸	13,000dtex 以上
色	緑色系統
温度対策	温度上昇抑制効果付き
基布素材	ポリプロピレンまたはポリエステル
バックング素材	ウレタンまたはパイル抜け防止策を施した耐水性 SBR

(2) その他仕様

【メイングラウンド】

項目	仕様
充填材	特殊調整硅砂およびチップにより厚み平均 40 mm ※土壌汚染対策法に基づく含有試験並びに溶出試験の基準値を満たすことを証明できる資料を提出できるもの ※チップは、低臭気タイプとし、周囲の環境を汚染させることがない材質のもの（発がん性物質を含まないもの）を証明できる資料を提出できるもの

	※温度抑制効果のあるカラーチップ（天然素材可）が望ましい。
競技ライン	ジョイント軽減を実施するため、主要ラインは工場にて織込みタフトとすること
ジョイントテープ	ポリエステル製、幅 300 mm以上
接着剤	合成樹脂系接着剤

【サブグラウンド】

項目	仕様
路盤構成	表層工(表面処理含む) T=100mm以上 路盤工(再生クラッシャーラン) T=150mm以上
競技ライン	ラインの目安としてマーカの打設

4. 多目的人工芝グラウンドの施工（敷設）実績

項目	仕様
事業者実績	次に掲げる工事内容の施工実績（共同企業体による施工を含む。）を有する者。ただし、構成事業者に実績がない場合は、協力事業者の実績も可とする。 ・日本国内において、同等規模以上の人工芝サッカーグラウンドの施工実績。 ※同一製品と認められるものであれば、芝丈の長短またはアンダーパットの有無にかかわらず実績とすることができる。
技術者実績	多目的人工芝グラウンドの路盤、舗装（人工芝敷設含む）等の施工は、次に掲げる工事内容の経験を有する主任担当技術者を配置すること。ただし、技術者が在籍していない場合は、協力会社事業者の技術者の配置も可とする。 ・同等規模以上の人工芝サッカーグラウンドの施工実績
人工芝実績	次に掲げる施工実績を有するロングパイル人工芝を敷設すること。 ・日本国内において、同一製品による同等規模以上の屋外人工芝サッカーピッチ1面以上（JFA公認）の敷設実績。 ※同一製品と認められるものであれば、芝丈の長短またはアンダーパットの有無にかかわらず実績とすることができる。